

学校新聞



<第51号>

東 陽

編集・発行

豊橋市立東陽中学校

〒440-0022

豊橋市岩崎町字野田1-2

TEL(0532)62-8116

touyou-j@toyohashi.ed.jp



よりよい生き方を実践する力を育めるように

校長 佐野 裕哉

本年度、東陽中学校は「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」の実施校として、一年間、道徳教育の研究と実践に取り組んでいきます。四月に行われた授業参観では、全学級道徳の授業を公開しました。本研究では、地域の方々や保護者の皆様の思いや声を反映させて進めていくこと、地域の自然や施設、人材を活用することも目標に掲げているため、授業参観に合わせて、保護者の皆様にアンケートの協力を願いしました。今後も、地域の皆様や保護者の皆様から寄せられた意見や評価をもとに、道徳の授業改善、ひいては、生徒の道徳性を養うことにつなげていきたいと考えています。

五月二十二日には、本研究に携わってくださる講師の先生をお招きして、二年四組で模範授業を行っていただきました。生徒たちは、まったくの初対面の先生と一緒に、「本当の思いやりとは」という問い合わせに考えてました。授業の初めに、講師の先生が「道徳の答えはどこにあると思う?」と質問しました。一人の生徒が「心の中」と発言し、道徳の答えはそれぞれの心の中にあることを生徒たちは確認しました。授業中、自分の「心の中」に浮かんだ「答え」を、自らすすんで発表し、他の仲間の意見と比較したり、自分とは異なる意見を受け入れたりしながら、「本当の思いやり」について真剣に考える生徒たちの姿が見られました。こうした実践を繰り返す中で、仲間と意見交流していろいろな見方や考え方があることを知り、物事を多面的多角的にとらえられるようになり、生徒たちが各自の「答え」を「心の中」に再構築していくことを目ざしたいと考えています。

地域の皆様や保護者の皆様には、日頃から東陽中学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、職員一同、心より感謝しております。今年度も、皆様の支援を賜りながら、生徒たちの成長を促すことのできる東陽中学校を目指していきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

学校スローガン

ALL FOR ALL

~つなげ東陽魂~



合言葉

東陽中学校を、より「魅力ある学校」に

○自ら知識を求める
探求のできる生徒

○自ら自然と人を
協力のできる生徒

○自ら困難に立ち向
心身をきたえる生徒

学校経営の方針

② 道徳性を育み、心の心
れあいを基盤とする集団
作りを進め、共生を意識
した学校づくりを目指す

③ キャリア教育（社会
的・職業的な自立能力や
判断力、実践力を育成）
を推進する。

④ 安全：安心な教区環境づくりに努め、自他の命を大切にする意識の醸成を図る。

「チニム東陽」としての組織力を強化し、生徒・保護者・校区から信頼される学校づくりに努める。



【令和7年度 職員紹介】

職名	氏名	担当教科	職名	氏名	担当教科
校長	佐野 裕哉		3年主任	榎原 健二	英語
教頭	齋藤 穎一	保体	3年1組	渥美 和穂	国語
教務	鈴木 裕二	数学	3年1組	夏目 萌未	数学
校務	小柳津 和義	技術	3年2組	吉川 千尋	音楽
養教	服部 恵子		3年3組	立石 佳子	社会
主事	宮崎 智輝		3年3組	羽田野 慎之介	数学
教諭	坂田 英理	国語	3年4組	高木 雄輝人	社会
用務 業務長	加藤 秀樹		3年4組	鈴木 健泰	理科
1年主任	大須賀 浩	保体	3年5組	藤井 大裕	英語
1年1組	佐藤 涼生	保体	3年5組	菊池 夏実	国語
1年1組	山本 裕美	英語	特支主任	山田 桂司	理科
1年2組	近藤 もも	社会	7組	鈴田 恵子	美術
1年3組	山田 千鶴子	保体	8組	寺岡 裕紀	数学
1年3組	加藤 文規	数学	9組	見広 香奈恵	家庭
1年4組	高津 泰地	国語	通級	白井 理恵	音楽
1年4組	大谷 知二	理科	国際教室	中村 圭子	国語
1年5組	川村 紘也	数学	拠点指	大塚 雅史	国語
1年5組	柴田 香織	家庭	非常勤講師	大場 和子	数学
2年主任	玉越 圭	保体	非常勤講師	須田 俊史	英語
2年1組	熊谷 一規	理科	非常勤講師	鈴木 真由美	英語
2年1組	森 由樹	社会	A L T	フリアス・カロリーナ	英語
2年2組	赤井 凜	数学	教育相談員	小田 キミエ	
2年2組	平松 花	理科	教育相談員	伊藤 ノルリン	
2年3組	矢島 光香子	美術	S C	望月 有花	
2年4組	白井 優菜	国語	図書館司書	大谷 真知代	
2年4組	小川 未彩季	音楽	給食従業員	藤原 由美子	
2年5組	伊木 ロドリゴ	英語	給食従業員	谷 利枝	
2年5組	岡本 直也	英語	校務支援員	上杉 洋美	
			校務支援員	水野 佐代子	

十月までの 主な行事予定		令和七年度
【4月】	9日 入学式・始業式 24日 P T A 総会 授業参観	
【5月】	8日 一年オリ合宿 (～9日)	
【6月】	19日 第一回定期テスト 31日 部活動保護者会 資源回収(持ち寄り) (～20日)	
【7月】	9日 三年修学旅行 (～11日) 18日 豊橋・学校いのちの日 第二回定期テスト (～20日)	
【8月】	7日 保護者会 持ち寄り資源回収 (～9日)	
【9月】	11日 全校出校日 12日 第三回定期テスト	
【10月】	31日 東陽祭(体育祭) 10日 東陽祭(文化祭) 11日 合唱コンクール	

各学年の抱負

一年生

新年度が始まり、子どもたちの「旅」がいよいよ動き始めました。学年目標である「The Journey」には、「自らの成長を信じ、一歩ずつ前に進む」という思いを込めています。

中学一年という大きな節目に立ち、子どもたちは、これまでと違う環境の中で、仲間との出会い、学びの発見、そして自分自身との向き合いを重ねながら、少しづつ歩みを進めています。時には道に迷い、立ち止まることがあるでしょう。しかし、それもまた大切な旅の一部です。先日行われたオリエンテーション合宿では、リーダーを中心にお分たちで考え、よりよい集団にしようとして行動していました。時間を守る。先を見据えて行動する。人のために動く。集団生活に欠かせないことを実践することができました。どんな学年集団になつていくのか楽しみです。この中学校の「旅」が実りあるものになるよう、学年職員一同、日々子どもたちに寄り添い、背中を押す存在であります。そして、保護者の皆さんには、ぜひご家庭でのあたたかな見守りと励ましという形で、子どもたちの「旅」を支えていただければと思います。一年間、それぞれの「The Journey」をともに歩んでいければ幸いです。

二年生

「ONE TEAM」を再び学年目標とし、新たな気持ちで二年生の中学校生活をスタートしました。学年目標には、①一人(ONE)を大切にできる

学年集団(Team)。②失敗をしても何度も挑戦し続けて未来への可能性につなげる。また、仲間の挑戦を全力で応援できる学年。③責任をもつてどんなこともやり遂げる。という願いを込めました。

始業式に新たな担任、クラスメイトとの出会いがありました。今年度から東陽中に登校をする生徒も数名いました。初日は緊張気味でしたが、ONE TEAM に溶け込むのも一瞬でした。新たな環境で不安な相手の気持ちを考え、挨拶やなにげない会話で一人を大切にしようとしてみんなが自然とできていました。

四月に入学してきた一年生に校歌や東陽体操を優しく教える姿に、先輩としての覚悟や責任を果たそうとする ONE TEAM の成長を感じました。

二年生ではこれまでに、総合的な学習の時間に、将来の夢や中学卒業後の進路について考えたり、興味のある職業について調べ学習をしたりして、身近に、さまざまな職業に就いて活躍する人がいることを知りました。六月に行つたビジネスパークでは、市内で活躍される十事業所の講師の方々から、仕事にかける思いや生き方などについて直接お話を聞くことができました。体験や経験をしたことをおいかして未来への可能性をどんどん広げてほしいと願っています。

今後も、「あなたの将来の夢は何ですか?」「将来、どんな生き方をしたいですか?」の問い合わせ、真剣に考えてていきます。また、「初心忘るべからず」をモットーに学校生活を送っていきます。

生活面では、①さわやかな挨拶や返事をするこ

と、②時間を守つて早めに行動すること、③人の話は顔を上げて聞くこと、④しっかりと身なりや服装で生活すること、⑤丁寧な言葉づかいをすることを意識して生活し、更なるレベルアップを目指します。

学習面では、日々の授業で、三年生での新しい学習内容を理解しようと真剣に話を聞く姿が見られたり、発言や周りとの話し合いや教え合いに積極的に取り組んだりしている生徒も多くいます。

今後も、「あなたの将来の夢は何ですか?」「将来、どんな生き方をしたいですか?」の問い合わせ、真剣に考えてていきます。また、「初心忘るべからず」をモットーに学校生活を送っていきます。

学校評議員会

学校評議員会は地域の各種団体の方に学校の様子や学校の運営についてご意見をいただき、よりよい学校運営を行つていこうとするための大重要な会議です。本年度も年二回開催します。よろしくお願いします。

左記が、本年度の評議員の方々です。

よろしくお願いします。

川本 恭久
山本 彰良
安藤 淳二
大木 敬哲
山本 晋吾
高橋 幸恵

【敬称略】